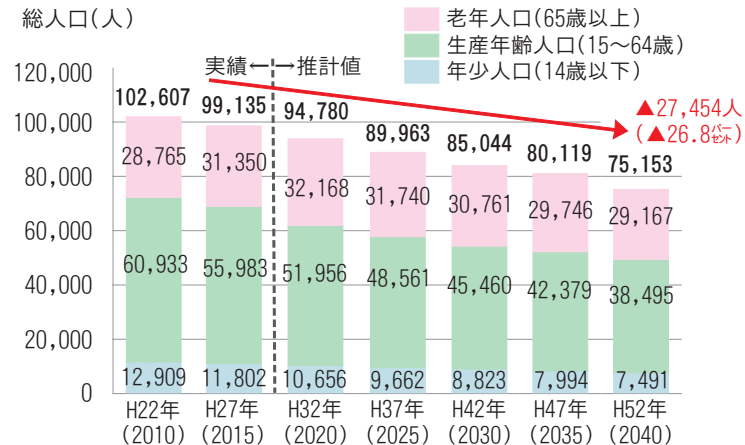


■推計から見る現状と課題
～花巻市公共施設白書より～

将来人口推計と財政の見通し

平成52(2040)年における本市の総人口は7万5153人になると見込まれています。年少人口は平成22年より42.0%減、生産年齢人口は36.8%減、老年人口は1.4%増加していますが、平成32年をピークに減少傾向にあります。



財政の見通しについては、生産年齢人口の減少に伴う税収減により、財政状況の悪化が懸念されます。また、老年人口の増加により、社会保障費などの割合が高い水準で推移することが予想されます。

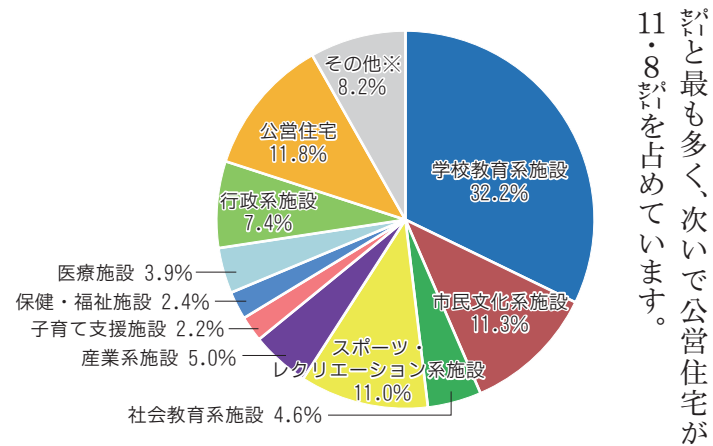
公共施設の分類
市が保有する公共施設の全体像を把握するため、学校や庁舎などの「建物施設」、道路や下水道などの「インフラ施設」について記載します。

建物施設
・延べ床面積 約52万7千平方メートル
・施設数 642施設
・棟数 1,707棟

インフラ施設
・道路延長 約3,308キロメートル
・橋りょう 約14キロメートル(1,029橋)
・下水道管 約897キロメートル

建物施設の保有状況

市が保有する建物施設の用途別の面積の割合は次の円グラフのとおりです。学校教育系施設が32.2%

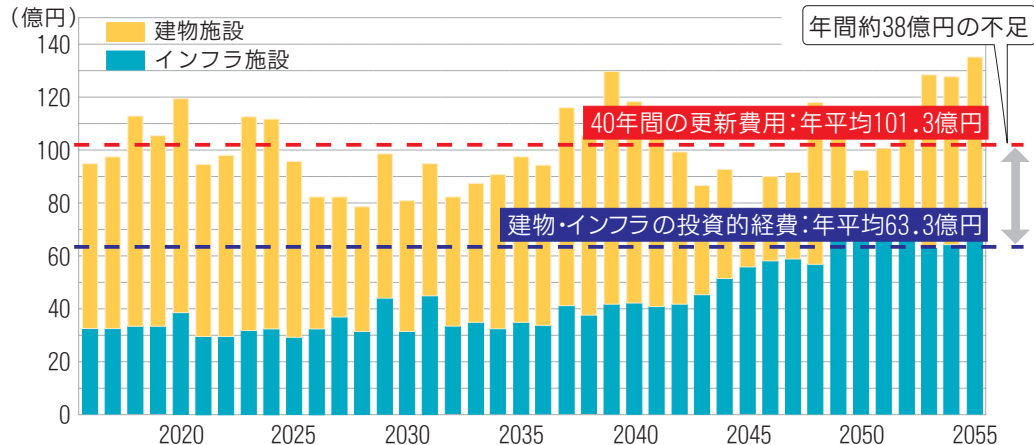


※右のグラフの「その他」は、公園、清掃施設、その他建築系公共施設、歴史的建造物、普通財産、下水道、農業集落排水、市場、コミュニティプラントで構成されています

建築年代別分布
築30～39年の施設が最も多く、全体の28.7%を占めています。今後10年間で約7割の施設が築30年以上となり、老朽化施設の増加が懸念されます。

な管理に関する基本的な方針
用途別の管理に関する基本的な方針

全ての公共施設(建物・インフラ施設)をそのまま更新すると、今後



将来更新費用の推計

40年間で更新にかかる費用は約4051.5億円と予測されます。年間で約101.3億円の費用が必要であるのに対し、投資的経費の平均額は年間約63.3億円であり、年間で約38億円が不足すると予測されます。

※将来更新費用の推計は、総務省推奨ソフトを基に試算しています

■計画策定の進め方

「花巻市公共施設白書」を作成したことで、現状のままの施設を維持していくことが難しいという課題が明らかになってきました。こうした課題を市民の皆さんと共有し、協働で「花巻市公共施設等総合管理計画」の策定を進めていきます。

計画案の概要

- 計画期間
平成29年度～平成68年度の40年間
- 計画の主な内容
▽公共施設の総合的かつ計画的



▲「花巻市公共施設等総合管理計画」の詳しい内容や「花巻市公共施設白書」は市ホームページでご覧いただけます

今後の市民参画の予定については、広報はなまきや市ホームページで随時お知らせします。

- 市民ワークショップ
8月から10月にかけて、3回にわたり市民ワークショップを開催
- 市民意見交換会
11月に市民の皆さんとの意見交換会を開催
- パブリックコメント
1月上旬から2月上旬にかけてパブリックコメントを実施
- 関係団体などからの意見聴取
1月から2月にかけて計画素案に対する各地域協議会からの意見聴き取り

市民参画の概要



【問い合わせ】
本庁公共施設計画策定室
(☎24・2111内線363)

